

メッセージ

立憲民主党沖縄県連 代表 **喜友名 智子**



第94回沖縄県メーデー中央式典のご開催を心よりお慶び申し上げます。

連合沖縄におかれましては、賃上げの社会的波及を目指す最低賃金の改定活動、国際女性デーでの男女の賃金格差や女性の地位向上を訴える街頭活動、2023年は「くらしをまもり未来をつくる」緊急アクション全国キャラバンなど、沖縄県内で精力的に労働運動を牽引する活動に深く敬意を表します。併せて、沖縄立憲民主党に対する多大なご支援、ご協力にも心より御礼申し上げます。

労働者たちが権利を主張する日として世界各地で開催されるメーデー。時代の変化とともに、次の世代に労働運動の歴史・意義を繋ぎながら、目の前の労働・雇用問題の解決に向け連帯を誓う重要な日です。コロナ禍の3年間で、働く人たちの意識が変わりつつあります。感染状況が小康状態の中、企業が新規採用を増やし、初任給引き上げも報じられますが、しかし、苦しい時期に事業・経済を支えた非正規雇用、特に女性、中小・零細事業で働く労働者の雇用環境は未だ厳しい状況です。

立憲民主党は、「もっとよい未来」を掲げ、非正規雇用の退職金や賞与等の改善を目指す「非正規雇用処遇改善法案」、物価高騰で深刻な状況にある世帯支援の「低所得子育て世帯給付金」の再支給法案など、雇用・労働、子育て・家計支援の法案を提出しています。また沖縄立憲民主党では、各自治体での会計年度任用職員の待遇改善、教職員の正規雇用化増の促進を後押ししています。共に「働きがいも経済成長も」実現する沖縄をつくっていきましょう。

結びに、連合沖縄の益々のご発展と、組合員のみなさまのご活躍を祈念いたします。